

ミスミグループ

2023年3月期 決算報告 と今後の取り組み

2023年4月28日
代表取締役社長
大野龍隆

22年度決算の概要

為替レート(対円)	FY21 実績	FY22 実績
USドル	112.9円	135.1円
ユーロ	131.0円	141.3円
人民元	17.6円	19.7円

目次

1. 22年度決算の概要	2
2. 23年度市況の見立てと通期連結業績見通し	10

22年度市況と当社の取り組み

中長期的な市場動向・トレンドの見立てには大きな崩れなし

- ・ 自動車・携帯からEV、ロボット、半導体への需要シフト
- ・ グローバルサプライチェーンの各地域ブロック化

一方、単年度では中国市場の減速が多大な影響

- ・ コロナ禍影響(上期LD、下期感染再拡大)による市況悪化
- ・ 中国需要低迷を起点とした日本、アジアへの波及悪影響
- ・ 中・日・亜の不振を欧米の伸びでカバーできず、苦しい1年

これらの環境下、当社は次なる需要回復期に向け「**攻め**」を継続

- ・ 地域毎の異なるニーズへの対応に向け「**地域毎モデル革新**」を加速
- ・ コストアップ影響吸収・攻撃的PD実行も**一定の収益性維持**
- ・ 最大の強み「**グローバル確実短納期**」を強化する投資を継続

22年度 決算概要

期初の中国LD影響、下期にかけ一層の需要減速で対前年微増収
売上数量減に加え、攻めの施策に関わる投資・費用増により減益

百万円

項目	FY21	FY22			
		1/27 修正計画	実績	増減率	
	実績	対前年		対計画	
売上高	366,160	377,000	373,151	+1.9%	▲1.0%
営業利益	52,210	49,000	46,615	▲10.7%	▲4.9%
利益率	14.3%	13.0%	12.5%	▲1.8pt	▲0.5pt
経常利益	52,500	50,000	47,838	▲8.9%	▲4.3%
当期利益	37,557	36,500	34,282	▲8.7%	▲6.1%

4

22年度 事業別売上高

需要減速の影響が全事業に及ぶも、為替効果で増収確保
FA・VONA 欧・米成長するも、中・日の低迷をカバーできず
金型部品 自動車関連投資の後倒しや稼働低下で中・亜弱含み

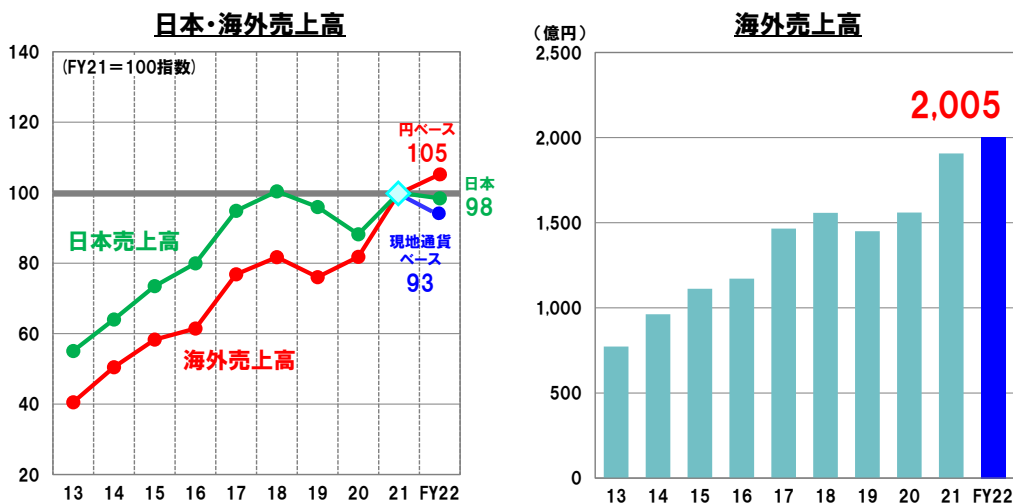
百万円

項目	FY21	FY22		
		実績	実績	対前年増減率
	円ベース			現地通貨ベース
合計	366,160	373,151	+1.9%	▲4.4%
FA事業	119,253	121,932	+2.2%	▲3.9%
金型部品事業	75,108	79,125	+5.3%	▲4.8%
VONA事業	171,799	172,093	+0.2%	▲4.5%

5

22年度 日本・海外売上高

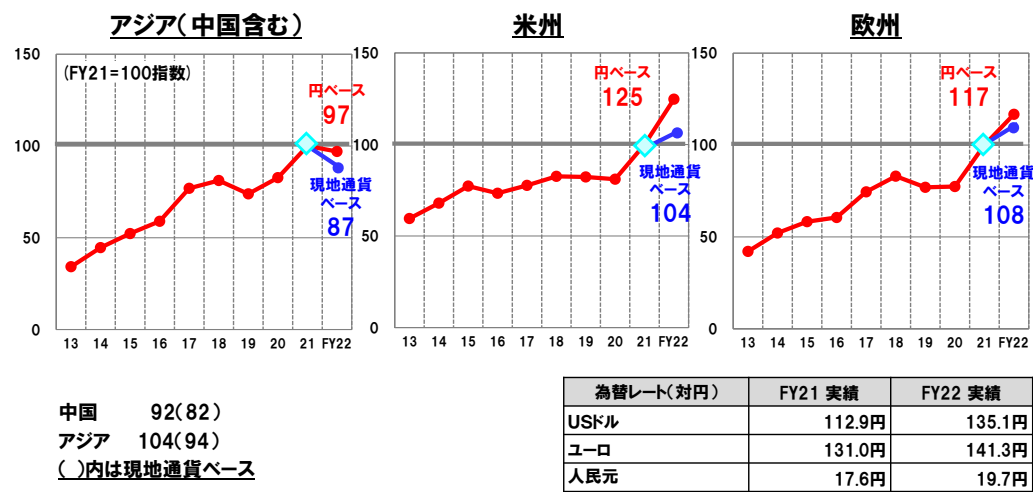
日本 中国不振・工場稼働率低迷の影響で自動車関連総じて低調
海外 欧・米成長維持も期中よりグローバル景気後退影響を受ける
結果、海外比率は53.7%、前年比+1.6pt



6

22年度 地域別売上高(現地通貨ベース)

アジア 中国除く亜は二次電池等で上期堅調もその後減速感鮮明
米・欧 下期より景気後退感あるもEVを中心に成長継続



7

22年度 事業別営業利益

FA・VONA 中・亜・日の売上数量減が大きく影響し減益
 金型部品 自動車関連需要減速による稼働低下の影響で減益

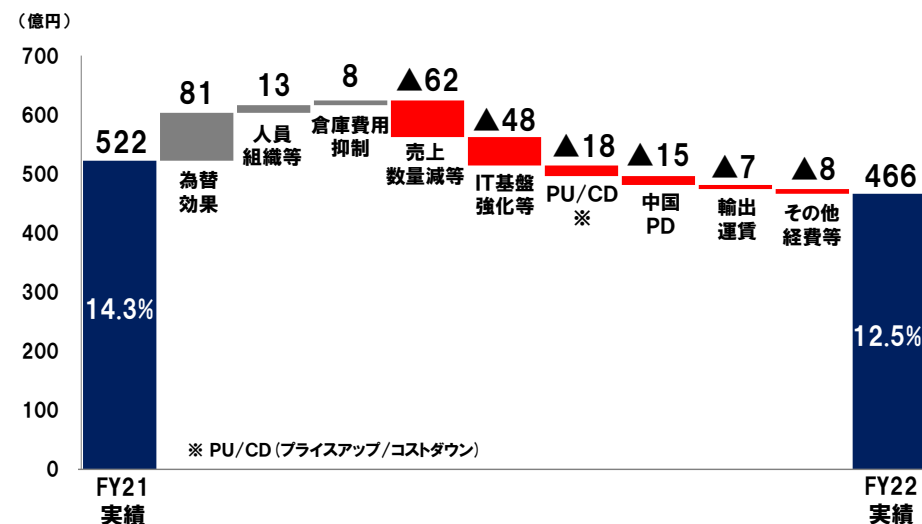
項目	FY21		FY22			
	実績		実績		対前年増減率	
	売上	利益率	売上	利益率	円ベース	現地通貨ベース
合計	52,210	14.3%	46,615	12.5%	▲10.7%	▲26.3%
FA事業	23,381	19.6%	21,384	17.5%	▲8.5%	▲23.7%
金型部品事業	9,542	12.7%	8,723	11.0%	▲8.6%	▲22.8%
VONA事業	19,287	11.2%	16,506	9.6%	▲14.4%	▲31.1%

百万円

8

22年度 営業利益増減分析(前年比)

為替および一部費用抑制の効果で売上数量減をカバー
 成長施策(IT刷新、PD)を計画通り実行も、一定の収益性は維持



9

23年度市況の見立てと通期連結業績見通し

為替レート(対円)	FY22 実績	FY23 計画
USドル	135.1円	130.0円
ユーロ	141.3円	138.0円
人民元	19.7円	19.0円

10

23年度市況の見立て

中長期的な市場動向・トレンドの見方は**不変**

前年の市況を踏まえ、FY23は**下期以降**本格的な需要回復を見込む

- ・ 自動化需要は中国を始め、海外を中心に回復・拡大
- ・ EV・半導体等、成長分野に対する投資が本格的に加速

これらを踏まえ、当社は

- ・ 商品・サービスの拡充を**継続的に強化**
- ・ **事業基盤革新**を図ると同時に、徹底的な**収益管理**を追求
- ・ **グローバル確実短納期**の強みをもって次なる高成長を目指す

11

23年度 通期業績見通し

市況の不透明性残るも、独自施策による過去最高売上更新を目指す
モデル革新に不可欠な先行投資を実行しつつも一定の収益性堅守

項目	FY22		FY23	
	実績	計画	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
売上高	373,151	396,000	+6.1%	+8.0%
営業利益	46,615	51,000	+9.4%	+14.3%
利益率	12.5%	12.9%	+0.4pt	+0.7pt
経常利益	47,838	51,400	+7.4%	-
当期利益	34,282	37,800	+10.3%	-

12

23年度 事業別売上高見通し

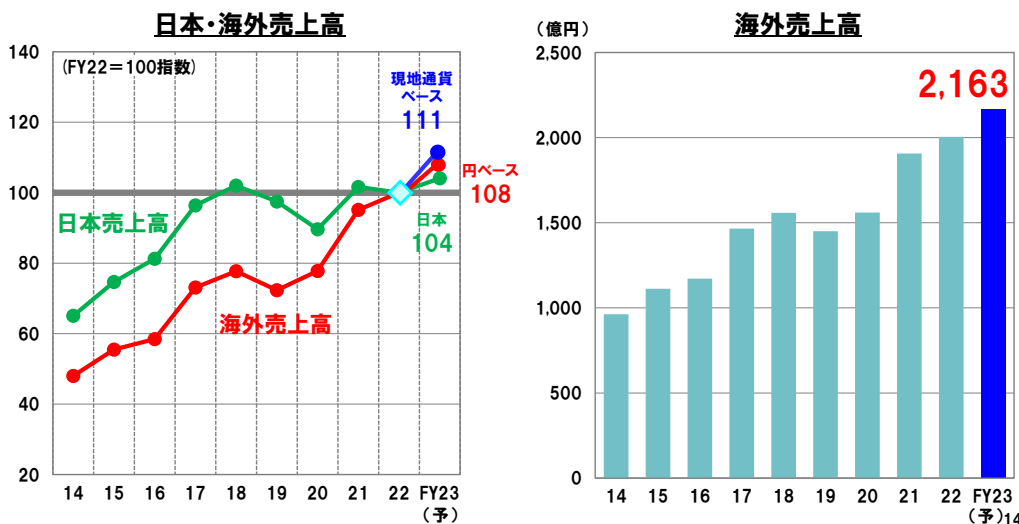
FA・VONA meviy展開加速・E品拡充等、海外を中心に成長
金型部品 グローバルで自動車関連需要の緩やかな回復を見込む

項目	FY22		FY23	
	実績	計画	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
合計	373,151	396,000	+6.1%	+8.0%
FA事業	121,932	135,586	+11.2%	+13.2%
金型部品事業	79,125	80,857	+2.2%	+4.7%
VONA事業	172,093	179,557	+4.3%	+5.8%

13

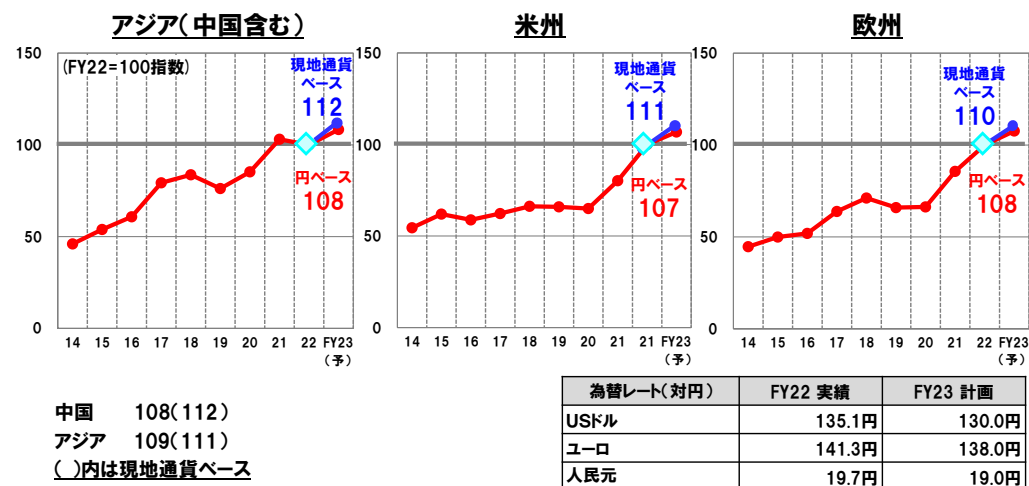
23年度 日本・海外売上高

日本 meviy対応領域拡大をはじめ、新規需要獲得により成長確保
海外 下期以降中・亜の市況回復に加え、独自施策の効果が寄与
結果、海外比率は54.6%、前年比+0.9pt



23年度 地域別売上高(現地通貨ベース)

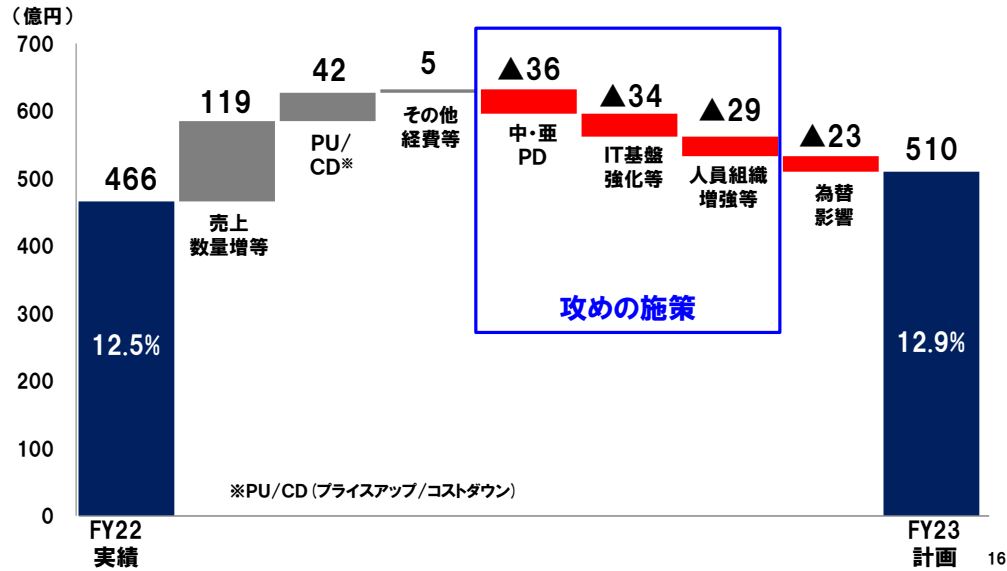
アジア 新商品投入の加速によりエコノミー品の市場浸透を図る
米・欧 EV等成長分野に重点的に取り組み、顧客基盤拡大を目指す



15

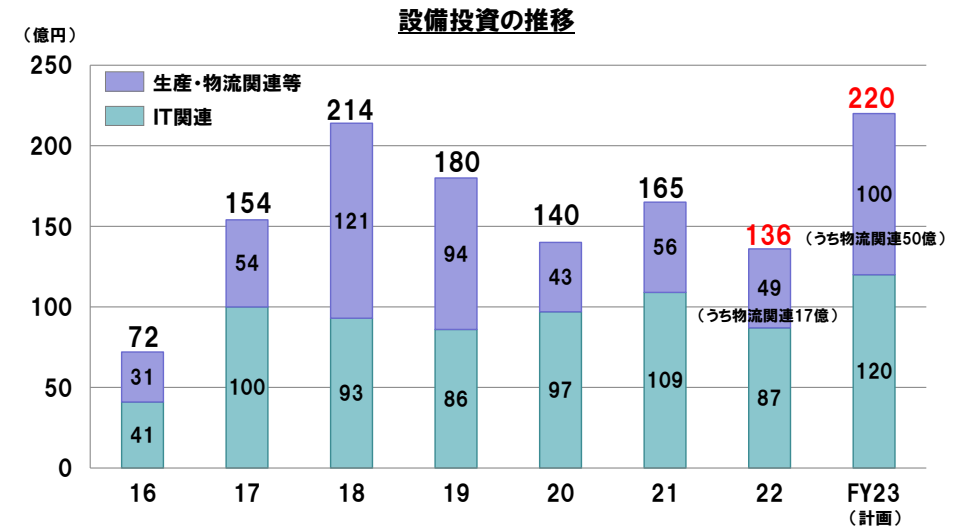
23年度 営業利益増減分析(前年比)

売上増および収益改善(PU/CD)の効果で大きく増益を計画
「攻めの施策」継続するも前年比で営業利益額・率の改善を企図



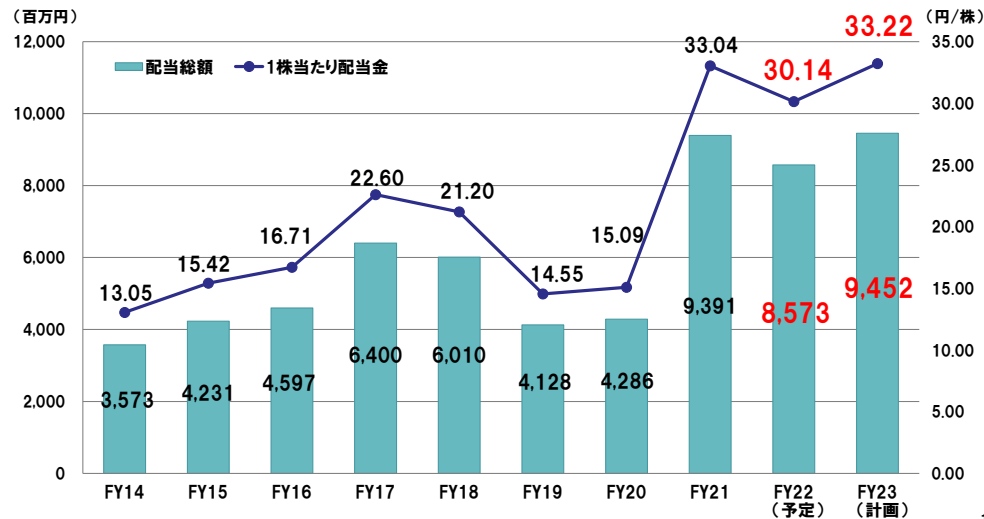
設備投資

22年度: 中国LD影響で一部遅延も、基幹システム刷新を中心に実行
23年度: 物流・生産を強化し、グローバル確実短納期を一層磨き込む



株主還元

22年度は、通期30.14円の配当を実施予定
23年度は、通期33.22円の配当を見込む(配当性向25%)
対前年3.08円増、前年比+10.2%、過去最高を更新



自社株買い

今般、以下要領にて自社株買いを決議

- 取得総額上限 : 100億円
- 取得株数上限 : 4,000,000株
- 取得期間 : 2023.05.01~07.31

中長期視点での成長投資、手元資金、株式市場動向等を総合的に勘案し、自社株買いを機動的に実施

持続的成長、株主還元の充実のバランスを図りつつ、柔軟な資本政策を目指す

まとめ

地域毎事業モデル開発を加速し、異なる需要に応える成長を目指す

